

コンサルティングエンジニア連盟 令和4年第1回意見交換会要旨

日時 令和4年2月15日(火) 12:10~13:05

場所 (一社)建設コンサルタンツ協会 7階 会議室 TV会議にて

出席 ○建コン協会議室にて参加

佐藤信秋参議院議員 足立敏之参議院議員

富山秘書 秘書

建コン協 野崎会長 重永副会長 酒井副会長 永治常任理事

中村常任理事 新屋常任理事 花岡常任理事 新井常任理事

連盟 長谷川会長 大島本部顧問 松村幹事長 磯山会計責任者

松原会計担当者 和作本部幹事

○TV会議によるリモート参加

協会 運営会議メンバー (26名参加、3名欠席)

連盟 支部長、監査役 (13名参加)

要旨

1) 連盟長谷川会長開会挨拶

連盟第21回総会が先ほど午前中に開催され、今年も昨年と同様に、残念ながらリモート会議になりましたが、無事終了しました。1月18日の品確議連総会に連盟として出席し、昨年について連盟単独で要望書を提出させて頂きましたが、連盟の地位向上と存在価値の向上に繋がるものと考えております。その際に、国の施策に関係する多くの議員や国土交通省の方向性についての話と政府の賃上げに対する総合評価の加点措置についての制度について有益なお話を伺いました。本日の先生のご講演で今回の賃上げと総合評価の加点措置の本格的な導入によって建コン協の分断も有り得るとのお話と、専門紙に先生のご意見が連日出ており、先生のご意見に連盟としても心強く思っております。

連盟はコンサルティングエンジニア(CE)の個人の会員をベースにしており、CEの社会的、経済的な地位の向上を目的に活動しておりそのためには連盟の母体の建設コンサルタンツ企業の健全な経営が前提となります。そのためには今、審議して頂いている必要な当初予算の継続性が一番大事で、合わせて、技術者単価、入札契約制度の改善が大事と考えています。一方で長引くコロナに対応する我々の働き方改革に関わるオンライン化等も含めて、働き方が変わってきており、その点では、岸田政権が提唱する成長と分配の中の賃金アップも必要と考えております。9年間で約30%の技術者単価のアップをして頂いている中で、総合評価の加点措置の制度を単年度でどう実現するのか、どう改善していくのかが課題であると思っております。その中で令和4年度の当初予算の成立が我々には重要です。

現在21年目で連盟の組織体制が固まってきた中で、今後は業界の将来を担う40才未満の若い世代に先生方の国会活動等を見学することで、その活動の成果を理解してもらうために、準会員制度を創設しました。現在、昨年末からのわずかな間に200名弱が入会しております。この若者との交流等を佐藤先生にもお願いしたいと考えております。連盟として先生方へお願いするばかりでなく、先生方の政治活動をしっかり支えて参ります。

2) 建コン協野崎会長挨拶

佐藤先生には品確法の改正を始めとして、技術者単価も9年連続アップ、更には国土強靱化の5か年加速化対策も含めて、予算もしっかり確保して頂き御礼を申し上げます。先生のお話の中に賃金アップが総合評価の加点になるということですが、我々には非常に疑問で、

佐藤先生にも疑問点を投げかけさせて頂きました。その結果、お陰様で我々の疑問が解消されました。このように各方面でご尽力を頂きまして、そんな中で要望として、これは品確議連の方へもお出ししましたが、特にここで3つほど要望します。

1つ目は、賃金アップを継続していくためには、我々の業務量そのものを一定量確保するだけではなく総量を上げていくことが我々経営する立場として非常に重要です。基本給を上げると継続しますので、事業量そのものがアップしていかないとそれに答えることができません。

2つ目は、技術者単価そのものも継続してアップしていかないと政府の加点措置に対応していくことができないと思っています。

3点目は、我々DXの推進ということで環境整備をしていきます。国交省からも令和5年度に本格的に進めていくと聞いていますので対応していかないといけません。環境整備の費用が非常に重要で、その中で調査基準価格のアップが必要かと思います。そのためには一般管理費のアップも必要です。更に歩掛そのものも改定して頂きたい。そうでないと政府のお考えに我々民間企業として賃金アップしてお応えすることが難しく、心配と不安と入り交じった状態ですので、是非ご尽力を頂ければと思います。

3) 建設コンサルタントの現状と佐藤議員への要望

東北支部

要望：1. デジタル化を進めるには全国の高速度通信網の敷設が必要ですが、市街地以外は蚊帳の外であり、ネットワークが組めるよう全地域で進めて頂きたい。2. メンテナンスの重要性は認識するも多くの自治体は財政難、人材不足であり、建設費とは別枠での予算化が必要です。例えば、道路特定財源制度を復活し維持管理に回して頂きたい。3. 総合評価落札方式の賃上げによる加点措置については、働き方改革に逆行する、大中企業の賃金格差を助長する、企業の拡大意欲を減退する等の問題があり、4つの対策、①建コン協と協議し問題解決を図る、賃金アップの基本は受注量のアップによる経営の改善です。そのため②技術者単価のアップ、③当初建設投資額の継続的なアップ、④総合評価落札方式での落札率を工事並みの90%以上、を講じていただきたい。

関東支部

要望：一つ目の賃上げによる加点措置については、ご講演頂いたように直近でも大きな動きがあり、2月8日に加点運用が財務大臣から発出されたことについては佐藤先生、足立先生に多大なご尽力を頂き感謝します。二つ目は、5G・AI・DX等の先進的技術導入によるインフラ整備について、新領域の開発提案を評価する新たな入札契約方式の導入に関して行政への提言をお願いしたい。三つ目は、建設コンサルタントの法的制度の制定について、登録義務化の自治体は少なく、一方で良質な社会資本整備へ向けて、行政への法整備の働きかけをお願いしたい。また我々に留意すべき点があれば教示いただきたい。

4) 佐藤議員の応答

長谷川会長の「当初予算が大事」については、強靱化を決める時に、一昨年最後まで議論した。5年15兆円に広げますと3年7兆円から中身としてはだいたい3割増しぐらいで、当初予算にするか補正予算にするかは毎年の勝負になる。私が拘ったのは、15兆円のうち公共はいくらだということ、高速を除いて9兆円だと、うち国費は6兆円。全体の国費は15兆円に対して7兆円、公共は9兆円（このうち国費は6兆円）、このことを世の中

に発信することで中身をチェックできる。

働き方改革は、おっしゃる通りで、賃金アップも働き方改革を踏まえてやらないといけない。特に過剰な超勤みたいなのは、出来るだけ少なくして、その代わり賃金単価を上げないといけない。そうしないと多くの企業で問題となっているように、超勤削ったら収入が減ってしまう。

特に技術者単価はグレードに応じて弁護士のように1時間いくらと決めるべきだと思っている。業務が少なくなったら、単価が下がるのは知的生産者の皆さんにはおかしいので、単価は上げるべきだと思う。1時間当たり、1日当たりでいくらと決めておく。仕事の量が少なくなった時は、基本姿勢として年収を確保するためには時間単価を上げるべきだと主張してきた。

野崎建コン協会長のおっしゃる業務量の安定的確保ですが、私が公共事業を増やせと20年以上言ってきた。バブル崩壊後、「ムダな公共事業を減らせ」との号令が財務省から出て、それが「公共事業はムダ」に変わってしまった。その後強靱化という言葉が市民権を得て、「インフラが危ない」が強靱化につながり、それが業務量の安定化につながっている。既存の公共事業を削らないで、そこに強靱化を上乗せすることになっている。5か年加速化対策の後には、強靱化基本法を変えようかと考えている。

DXは重要な話で、調査基準価格の話は今年も議論している。環境整備も大事な問題である。

遠藤東北支部長の「デジタル化のための高速通信網の敷設の推進」の話は、特に5Gは通信の範囲が短いので光ケーブルを張り巡らせる必要があり、我々は急がせている。

自治体のインフラの維持管理財源は大事な話で、地方の維持管理の為にだけでも増額が必要かもしれない。走行税とか有料道路の収入なども活用しながら地方の維持管理用の財源確保が必要だと思う。自民党の地方行政調査会の代表になったので、やるべきことの1つだと思う。

それから、東北地整は7割が総合評価で発注され、落札率が82.5%と低いので90%以上にしたいとのこと、おっしゃる通りで、調査基準を上げると同時に経費率を上げることが大事である。ただ、経費率を上げると調査基準が下がるので、両方上がるように頑張っていきたい。

濱中関東支部長の加点措置については、「何ともならないよ」という会社があったら相談に乗って頂いて、いろんな計算の仕方、算定の仕方によって入札に参加できるようにしてほしい。5Gの高速化はおっしゃる通りで、ITCは日本がリードしていたが結局中国、アメリカに比べて日本は個人情報保護があまりにも厳しくて遅れを取っている。日本はこの課題を乗り越えてやっていかないとはいけない。

建設コンサルタントの法的整備は、おっしゃるとおりで、そういう意味もあって、3年前に品確法の改正において建設コンサルタントについては、公共工事等の中に、調査等（測量、地質調査その他の調査及び設計）を入れ込んだ。業法を新しく作るのはいろんな業界があって極めて難しい。

建設コンサルタントの登録をしなくとも調査設計業務に参加できる点については、登録の強制について私も勉強したい。法的に規制するには少し時間がかかるかもしれない。

以上